



【市営地下鉄の車両基地を視察するコートジボワール代表団の皆さん】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 3 月 16 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-3826
ki-somu@city.yokohama.jp

台中市長が渡辺副市長と面会を しました

3月7日、台湾・台中市の林佳龍（りん・かりゅう）市長一行が渡辺副市長と面会し、台湾および台中市との交流について意見交換を行いました。

台中市は、本市が主導的な役割を果たしているシティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）に加盟していることや、一昨年、柏崎副市長が訪台した際、林（りん）市長と面会するなど、交流を深めています。

台中市は近年クルージングに力を入れており、面会後は大さん橋の視察を行いました。

港湾局の職員からは、横浜港の特徴や利便性、大さん橋国際客船ターミナルの機能と施設の概要などについて説明しました。



（林佳龍市長と渡辺副市長）

コートジボワール鉄道管理公社 総裁が横浜を訪問しました

西アフリカ・コートジボワールの鉄道管理公社総裁をはじめインフラ分野の代表団5名が、日本のインフラ技術を学ぶため来日し、3月1、2日に横浜を訪れました。

本市は、コートジボワール最大の都市アビジャンの都市開発を日仏両国の協力で進めるプロジェクトに積極的に協力しています。

渡辺副市長は、「横浜は、人口急増に伴うインフラ不足や環境問題などを乗り越え成長を続けてきました。こうした経験・ノウハウを活かして、コートジボワールのインフラ開発に貢献できれば嬉しい」と挨拶しました。

代表団は、市営地下鉄の運行管理・保守の現場や、大さん橋客船ターミナル、横浜シーサイドラインを視察しました。



（代表団と渡辺副市長）

仁川広域市文化芸術課長一行が 横浜美術館を視察しました

2月24日、市内初の公立美術館の建設を検討している韓国・仁川広域市より、文化芸術課長一行が来浜し、横浜美術館を訪問しました。

横浜美術館の関係者からは、美術館建設の方式や運営手法、コンセプトの決め方や美術品の保有現況など多岐にわたる説明があり、仁川市側からは、美術館の設計にあたり考慮すべき点について、ハード面からソフト面にいたるまで詳細な質問が寄せられました。

また、意見交換と併せて、展示室・市民のアトリエ・情報センターなどの館内視察も行いました。

※横浜市は仁川広域市とパートナー都市提携を結んでいます。



（視察の様子）